

フルハーネス型安全帯のご紹介 ≪販売≫

厚生労働省の第12次労働災害防止計画に、「一般に広く使用されている胴ベルト型の安全帯は、墜落時の身体への衝撃が大きいため、作業性を考慮しつつ、一定条件下でハーネス型の安全帯を義務付ける等、墜落時に衝撃が少ない安全帯を普及させる」と指導しています。

複数のベルトを肩や腿、胸などに通すことで、胸部・腹部への圧迫を軽減します。

宙ぶり状態でも着用者の姿勢が逆さま姿勢になることを防止します。



建設業労働災害防止協会
「正しく使おう フルハーネス」より

ハーネス・ランヤードともに自由に組み合わせられます。
作業環境に合わせてお選びください。

新年度に向けて、新調しませんか



作業着



ヘルメット



安全靴

次号でご紹介いたします。。。



大三建商株式会社

<https://www.daisan-k.com/>

2018.2月号